

サイバイバーに寄り添い歩くリレーイベント

リレー・フォー・ライフ活動の締めくくりとしてイベントを開催します。会場ではチームの仲間とタスキをつなぎ、チームフラッグを掲げ歩きます。



がん征圧・患者支援チャリティ活動 リレー・フォー・ライフ 使命と三つのテーマ

Save Lives (セーブライブズ)

祝い Celebrate

がんの告知を乗り越え、今を生きているサイバイバーや家族などの支援者を讃え、祝福します。

しのぶ Remember

がんで亡くなった愛する人をしのび追悼します。また病の痛みや悲しみと向き合っている人たちを敬みます。

立ち向かう Fight Back

がんの予防や検診を啓発し、征圧のための寄付を募り、がんで苦しむ人や悲しむ人をなくす社会をつくります。

3つのテーマに支えられ、使命であるSave Lives が成り立っています。

皆様からのご寄付

リレー・フォー・ライフで寄せられた寄付金は、公益財団法人日本対がん協会を通じて、下記の支援に充てられています。

寄付の使い道

- リレーイベント**
リレー・フォー・ライフ活動の締め切りとして、ウォークイベントを開催します。
- がんの悩み相談**
専業主婦、社会福祉士による、電話相談を無料で実施しています。
がん相談ホットライン 03-3541-7830
(年末年始を除く毎日10～13時、15～18時)
※状況によって変わる可能性がありますので、詳しくは日本対がん協会ホームページにてご確認ください。
- プロジェクト未来**
がんの新しい治療法や新薬開発に向けた研究助成を寄付金で支えています。
- 若手医師育成のための奨学金(マイ・オンコロジー・ドリーム奨励賞)**
がんを深く学びたい若手医師が、海外の専門施設で研修するための費用の一部を寄付金で支えています。
- がん検診受診率アップ**
ポスターやパンフレットの作成など、がんについての知識の普及・啓発、がん検診の受診促進活動を実施しています。

開会式 ～サイバイバーズラップ～



リレーイベントの最初の1周は「サイバイバーズラップ」と呼ばれ、がん患者さんやがん経験者が歩きます。がん告知や闘病を乗り越え、この日を迎えられたことを参加者みんなでお祝いします。

リレーウォーク



ステージでは歌などのパフォーマンスや啓発活動が行われます。

ルミナリエセレモニー



夕暮れには、亡くなられた方へのメッセージや病と向き合っている方への励ましが書かれたルミナリエに火を灯し偲びます。灯りは参加者の足元を照らし続けます。



リレー・フォー・ライフでは、夜越えのウォークを推奨しています。サイバイバーと共に不安な夜を越え、夜明け前に一瞬現れる深い紫色の空(ドーンパープル)を見るのはリレーイベントならではの光景です。

サイバイバーズラップの後は、参加チームがリレー形式でウォークをつなぎます。

閉会式



参加者全員を讃え、1年間を通じて行うリレー・フォー・ライフのチャリティ活動への想いを新たにします。

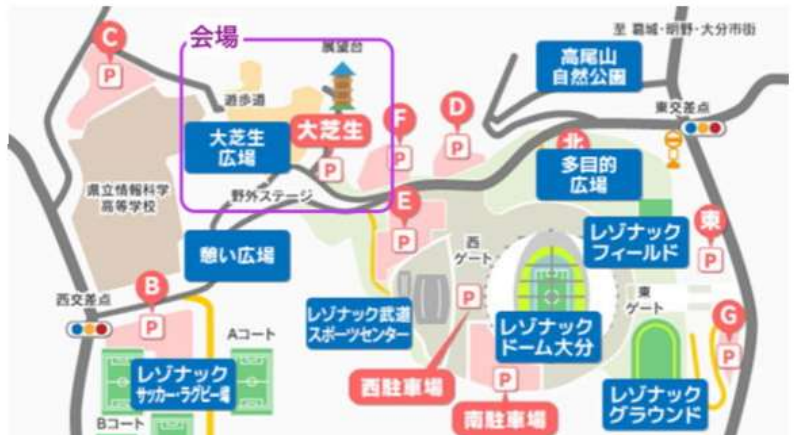


リレー・フォー・ライフとは

がんサイバイバー(がん経験者)やそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指します。1年を通じて取り組むチャリティ活動です。

1985年、一人の医師がトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募りました。「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し支援するためでした。ともに歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこのイベントは、現在世界34ヶ国、2460ヵ所で開催され、年間寄付は約137億円にのぼります。

会場 大分スポーツ公園 大芝生広場



お車でお越しの方はB駐車場、C駐車場をご利用ください